



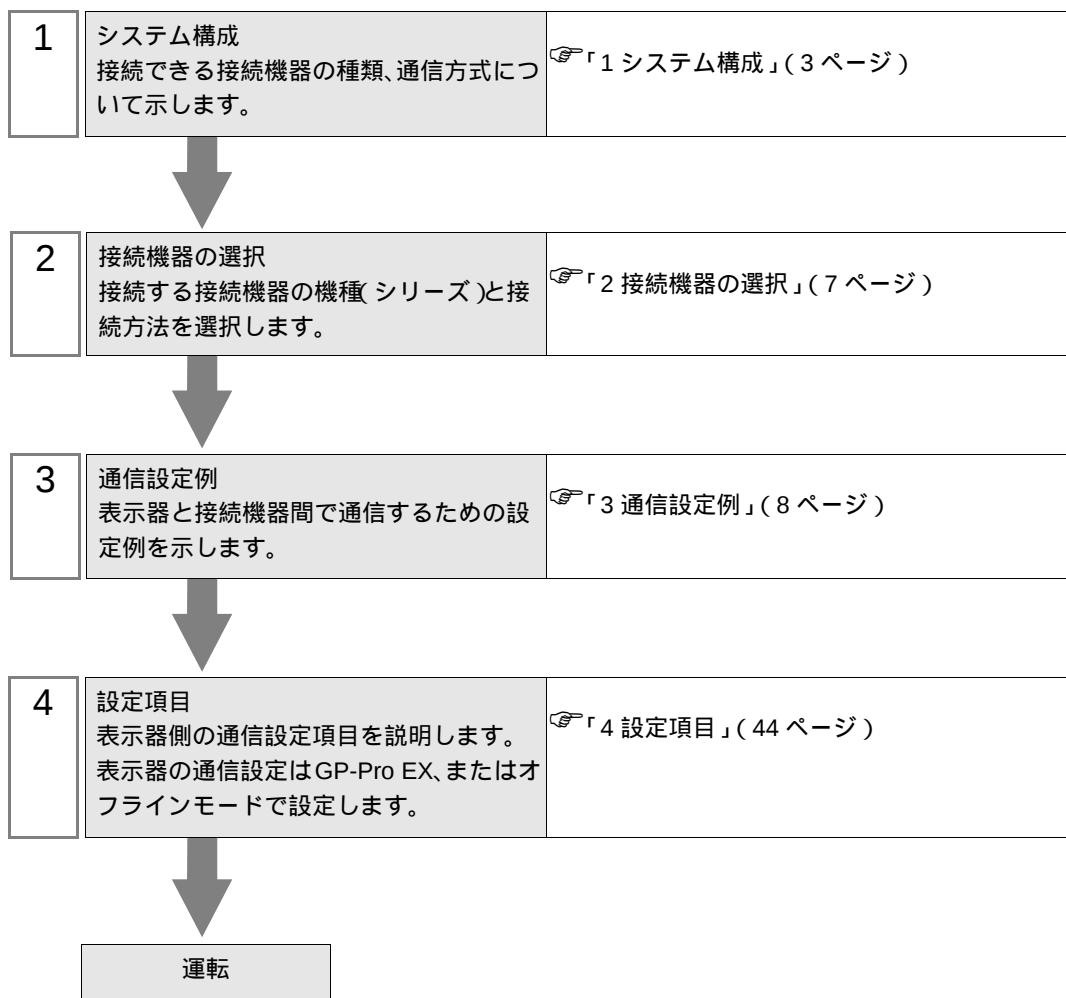
CS/CJ シリーズイーサネット ドライバ

1	システム構成.....	3
2	接続機器の選択	7
3	通信設定例	8
4	設定項目	44
5	使用可能デバイス	48
6	デバイスコードとアドレスコード	53
7	エラーメッセージ	55

はじめに

本書は表示器と接続機器（対象 PLC）を接続する方法について説明します。

本書では接続方法を以下の順に説明します。



1 システム構成

オムロン（株）製接続機器と表示器を接続する場合のシステム構成を示します。

シリーズ	CPU ¹	リンク I/F	通信方式	設定例
CS シリーズ	CS1H-CPU67 CS1H-CPU66 CS1H-CPU65 CS1H-CPU64 CS1G-CPU45 CS1G-CPU44 CS1G-CPU43 CS1G-CPU42	CS1W-ETN01	イーサネット (UDP)	設定例 1 (8 ページ)
	CS1H-CPU67H CS1H-CPU66H CS1H-CPU65H CS1H-CPU64H CS1H-CPU63H CS1G-CPU45H CS1G-CPU44H	CS1W-ETN11		
	CS1G-CPU43H CS1G-CPU42H CS1H-CPU67-V1 CS1H-CPU66-V1 CS1H-CPU65-V1 CS1H-CPU64-V1 CS1H-CPU63-V1 CS1G-CPU45-V1 CS1G-CPU44-V1 CS1G-CPU43-V1 CS1G-CPU42-V1	CS1W-ETN21	イーサネット (UDP)	設定例 3 (14 ページ)
			イーサネット (TCP)	設定例 4 (17 ページ)
CJ1 シリーズ	CJ1G-CPU45 CJ1G-CPU44 CJ1M-CPU23 CJ1M-CPU22 CJ1M-CPU21 CJ1M-CPU13 CJ1M-CPU12 CJ1M-CPU11 CJ1H-CPU66H CJ1H-CPU65H CJ1G-CPU45H CJ1G-CPU44H CJ1G-CPU43H CJ1G-CPU42H	CJ1W-ETN01	イーサネット (UDP)	設定例 2 (11 ページ)
		CJ1W-ETN11		
		CJ1W-ETN21	イーサネット (UDP)	設定例 3 (14 ページ)
			イーサネット (TCP)	設定例 4 (17 ページ)

シリーズ	CPU ¹	リンク I/F	通信方式	設定例
CJ2 シリーズ	CJ2H-CPU64-EIP CJ2H-CPU65-EIP CJ2H-CPU66-EIP CJ2H-CPU67-EIP CJ2H-CPU68-EIP	CPU 上の内蔵 EtherNet/IP ポート	イーサネット (UDP)	設定例 5 (20 ページ)
			イーサネット (TCP)	設定例 6 (24 ページ)
		CJ1W-ETN21	イーサネット (UDP)	設定例 7 (28 ページ)
			イーサネット (TCP)	設定例 8 (32 ページ)
CP1 シリーズ	CP1H-X□□DR-A CP1H-X□□DT-D CP1H-X□□DT1-D CP1H-XA□□DR-A CP1H-XA□□DT-D CP1H-XA□□DT1-D CP1H-Y□□DT-D	CJ1W-ETN21	イーサネット (UDP)	設定例 9 (36 ページ)
			イーサネット (TCP)	設定例 10 (40 ページ)

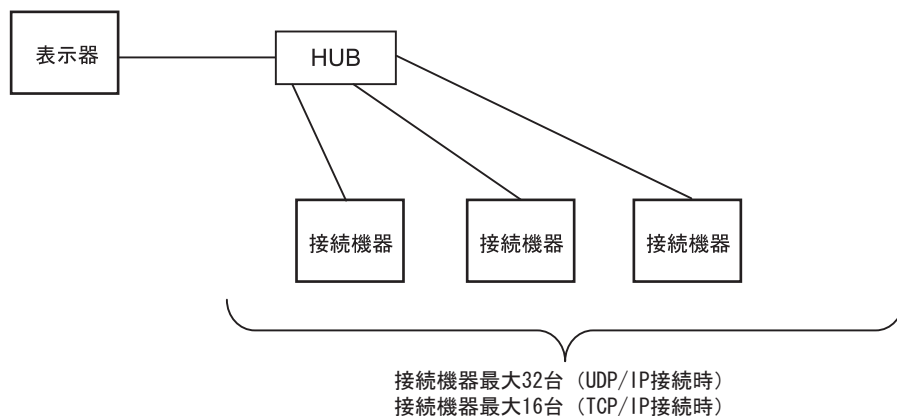
1 □ は各 CPU の入出力の点数によって異なります。

■ 機器構成

- 1 : 1 接続

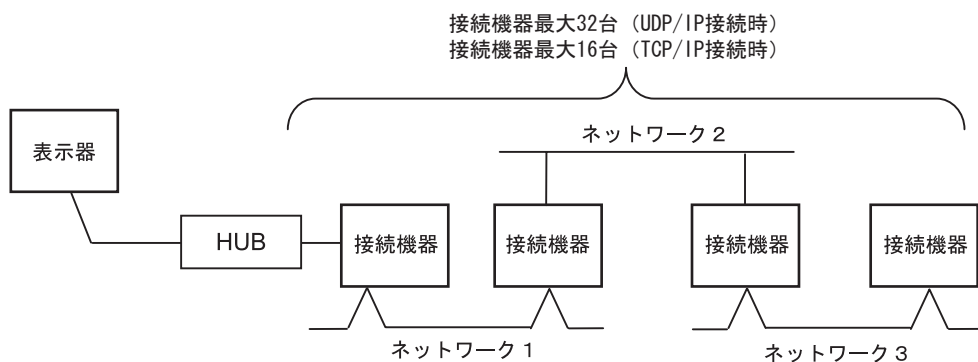


- 1 : n 接続

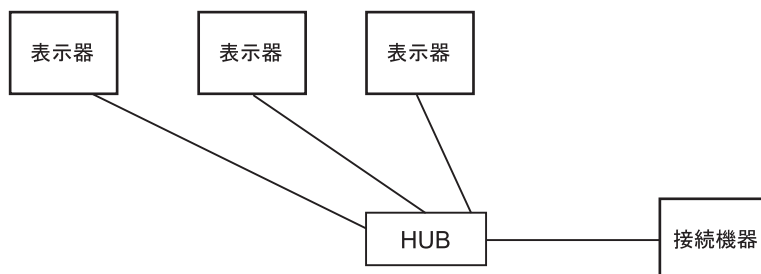


- 1 : n 接続 (ネットワーク越えアクセス)

中継ノードを間に入れることにより、異なるネットワークアドレスの接続機器にアクセスすることができます。最大3階層までネットワーク越えアクセスが可能です。

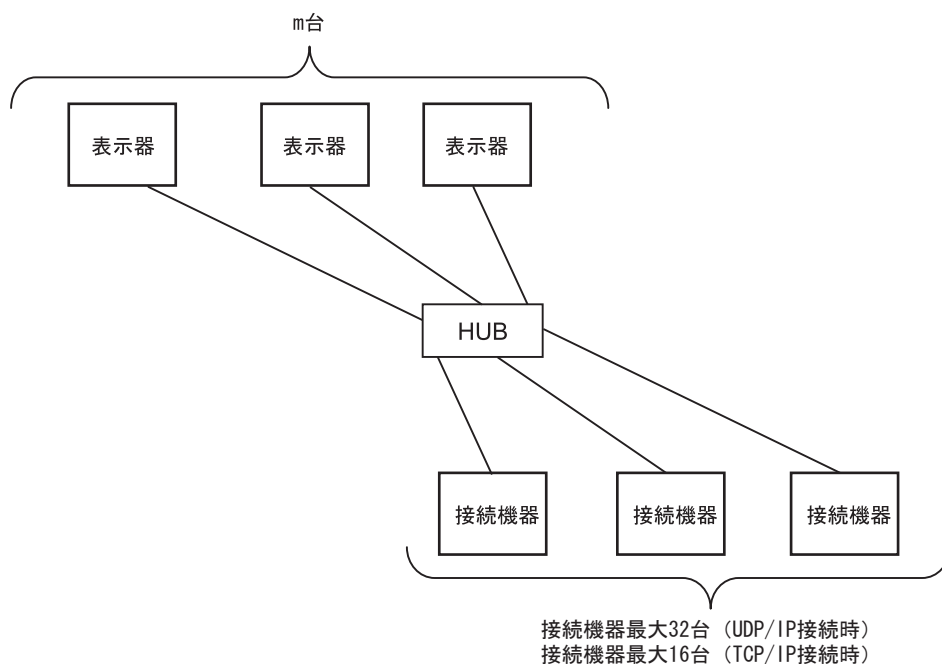


- m : 1 接続



MEMO • 表示器の台数に特に制限はありません。ただし、接続台数が増えると通信負荷も増えるため考慮が必要です。

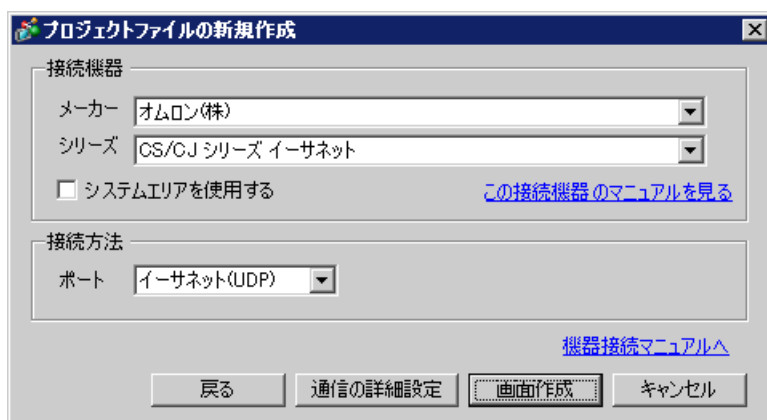
- m : n 接続



MEMO • 表示器の台数に特に制限はありません。ただし、接続台数が増えると通信負荷も増えます。

2 接続機器の選択

表示器と接続する接続機器を選択します。



設定項目	設定内容
メーカー	接続する接続機器のメーカーを選択します。「オムロン(株)」を選択します。
シリーズ	接続する接続機器の機種(シリーズ)と接続方法を選択します。「CS/CJ シリーズ イーサネット」を選択します。 「CS/CJ シリーズ イーサネット」で接続できる接続機器はシステム構成で確認してください。 ☞「1 システム構成」(3 ページ)
システムエリアを使用する	表示器のシステムデータエリアと接続機器のデバイス(メモリ)を同期させる場合にチェックします。同期させた場合、接続機器のラダープログラムで表示器の表示を切り替えたりウィンドウを表示させることができます。 参照: GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用)」 この設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードでも設定できます。 参照: GP-Pro EX リファレンスマニュアル「5.17.6[システム設定ウィンドウ]の設定ガイド ■ [本体設定] の設定ガイド システムエリア設定」 参照: 保守/トラブル解決ガイド「2.15.1 表示器共通」 ■ [本体設定] の設定ガイド システムエリア設定
ポート	接続機器と接続する表示器のポートを選択します。

3 通信設定例

(株) デジタルが推奨する表示器と接続機器の通信設定例を示します。

CS/CJ シリーズを使用する場合は GP-Pro EX およびラダーソフトで以下のように設定します。

3.1 設定例 1

■ GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの [システム設定ウィンドウ] から [接続機器設定] を選択します。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー オムロン(株) シリーズ CS/CJ シリーズ イーサネット ポート イーサネット(UDP)

文字列データモード 1 [変更](#)

通信設定

ポート番号 9600

タイムアウト 3 (sec)

リトライ 2

送信ウェイト 0 (ms)

自局アドレス

ネットワーク 0

ノード 2

初期設定

機器別設定

接続可能台数 32台

No. 機器名 設定

1 PLC1 IPアドレス=192.168.0.001,ポート番号=9600,ネットワーク=0,ノード=1

- MEMO**
- ・ [ネットワーク] は表示器のネットワークアドレスを任意で設定してください。
 - ・ [ノード] は表示器のノードアドレスを任意で設定してください。

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から  をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



MEMO

- [IP アドレス] は接続機器に設定した IP アドレスを設定してください。
- [ネットワーク] は接続機器に設定したネットワークアドレスを設定してください。
- [ノード] は接続機器に設定したノードアドレスを設定してください。

注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。
- 接続機器のデフォルトのポート番号は 9600 です。必ず表示器と接続機器のポート番号を同じ設定にしてください。
- 表示器と接続機器では異なるノードアドレスを設定してください。

■ 接続機器の設定

プロジェクトウィンドウの [I/O テーブル] をダブルクリックし、[PC の I/O テーブル] ウィンドウを表示します。ウィンドウ内 Ethernet ユニット上で右クリックして表示されるメニューから [ユニット設定] を選択し、Ethernet ユニット設定画面を表示します。

設定項目	設定
IP アドレス変換	IP アドレステーブル方式
IP アドレステーブル	表示器で設定したノードアドレスと IP アドレス
IP アドレス設定ロータリースイッチ ²	192.168.0.1
自ネットワークアドレス ¹	0
ノードアドレス設定ロータリースイッチ ²	1
ユニット No. 設定ロータリースイッチ ²	0
FINS/UDP ポート	9600

- 1 ネットワーク越えアクセスをする際に使用するパラメータです。
設定は「CX-Net ネットワークコンフィグレーション」のルーチングテーブルにて行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照下さい。
- 2 設定は Ethernet ユニット前面のロータリースイッチにて行います。

注意事項

- IP アドレス、サブネットマスクはネットワーク管理者に確認し、重複した IP アドレスは設定しないでください。
- 必ず表示器と接続機器のポート番号を同じ設定にしてください。

3.2 設定例 2

■ GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択します。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

ポート番号

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

自局アドレス

ネットワーク

ノード

機器別設定

接続可能台数 32台

No.	機器名	設定
1	PLC1	IPアドレス=192.168.0.0.001,ポート番号=9600,ネットワーク=0,ノード=1

MEMO

- ・ [ネットワーク] は表示器のネットワークアドレスを任意で設定してください。
- ・ [ノード] は表示器のノードアドレスを任意で設定してください。

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から  をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



MEMO

- [IP アドレス] は接続機器に設定した IP アドレスを設定してください。
- [ネットワーク] は接続機器に設定したネットワークアドレスを設定してください。
- [ノード] は接続機器に設定したノードアドレスを設定してください。

注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。
- 接続機器のデフォルトのポート番号は 9600 です。必ず表示器と接続機器のポート番号を同じ設定にしてください。
- 表示器と接続機器では異なるノードアドレスを設定してください。

■ 接続機器の設定

プロジェクトウィンドウの [I/O テーブル] をダブルクリックし、[PC の I/O テーブル] ウィンドウを表示します。ウィンドウ内 Ethernet ユニット上で右クリックして表示されるメニューから [ユニット設定] を選択し、Ethernet ユニット設定画面を表示します。

設定項目	設定
IP アドレス変換	IP アドレステーブル方式
IP アドレステーブル	表示器で設定したノードアドレスと IP アドレス
IP アドレス	192.168.0.1
自ネットワークアドレス ¹	0
ノードアドレス設定ロータリースイッチ ²	1
ユニット No. 設定ロータリースイッチ ²	0
FINS/UDP ポート	9600

- 1 ネットワーク越えアクセスをする際に使用するパラメータです。
設定は「CX-Net ネットワークコンフィグレーション」のルーチングテーブルにて行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照下さい。
- 2 設定は Ethernet ユニット前面のロータリースイッチにて行います。

注意事項

- IP アドレス、サブネットマスクはネットワーク管理者に確認し、重複した IP アドレスは設定しないでください。
- 必ず表示器と接続機器のポート番号を同じ設定にしてください。

3.3 設定例 3

■ GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択します。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

ポート番号

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

自局アドレス

ネットワーク

ノード

機器別設定

接続可能台数 32台

No.	機器名	設定
1	PLC1	IPアドレス=192.168.0.0.0.0.1,ポート番号=9600,ネットワーク=0,ノード=1

MEMO

- ・ [ネットワーク] は表示器のネットワークアドレスを任意で設定してください。
- ・ [ノード] は表示器のノードアドレスを任意で設定してください。

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から  をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



MEMO

- [IP アドレス] は接続機器に設定した IP アドレスを設定してください。
- [ネットワーク] は接続機器に設定したネットワークアドレスを設定してください。
- [ノード] は接続機器に設定したノードアドレスを設定してください。

注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。
- PLC のデフォルトのポート番号は 9600 です。UDP 接続の場合は必ず表示器と接続機器のポート番号を同じ設定にしてください。
- 表示器と接続機器では異なるノードアドレスを設定してください。

■ 接続機器の設定

プロジェクトウィンドウの [I/O テーブル] をダブルクリックし、[PC の I/O テーブル] ウィンドウを表示します。ウィンドウ内 Ethernet ユニット上で右クリックして表示されるメニューから [ユニット設定] を選択し、Ethernet ユニット設定画面を表示します。

設定項目	設定
IP アドレス変換	自動生成方式（動的）
伝送速度	自動検出
IP アドレス	192.168.0.1
自ネットワークアドレス ¹	0
ノードアドレス設定ロータリースイッチ ²	1
ユニット No. 設定ロータリースイッチ ²	0
FINS/UDP ポート	9600

- 1 ネットワーク越えアクセスをする際に使用するパラメータです。
設定は「CX-Net ネットワークコンフィグレーション」のルーチングテーブルにて行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照下さい。
- 2 設定は Ethernet ユニット前面のロータリースイッチにて行います。

注意事項

- IP アドレス、サブネットマスクはネットワーク管理者に確認し、重複した IP アドレスは設定しないでください。
- UDP で接続する場合は、必ず表示器と接続機器のポート番号を同じ設定にしてください。

3.4 設定例 4

■ GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択します。

MEMO

- ・ [ネットワーク] は表示器のネットワークアドレスを任意で設定してください。
- ・ [ノード] は表示器のノードアドレスを任意で設定してください。

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から  をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



MEMO

- [IP アドレス] は接続機器に設定した IP アドレスを設定してください。
- [ネットワーク] は接続機器に設定したネットワークアドレスを設定してください。
- [ノード] は接続機器に設定したノードアドレスを設定してください。

注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。
- 接続機器のデフォルトのポート番号は 9600 です。UDP 接続の場合は必ず表示器と接続機器のポート番号を同じ設定にしてください。
- 表示器と接続機器では異なるノードアドレスを設定してください。

■ 接続機器の設定

SYSMAC-CS1 シリーズ (EtherNet ユニット：CS1W-ETN21), CJ シリーズ (EtherNet ユニット：CJ1W-ETN21) と GP を通信する為には、PLC の EtherNet ユニットを設定する必要があります。

プロジェクトウィンドウの [I/O テーブル] をダブルクリックし、[PC の I/O テーブル] ウィンドウを表示します。ウィンドウ内 Ethernet ユニット上で右クリックして表示されるメニューから [ユニット設定] を選択し、Ethernet ユニット設定画面を表示します。

設定項目	設定
IP アドレス変換	自動生成方式 (動的)
伝送速度	自動検出
IP アドレス	192.168.0.1
自ネットワークアドレス ¹	0
ノードアドレス設定ロータリスイッチ ²	1
ユニット No. 設定ロータリスイッチ ²	0
FINS/TCP ポート	9600

- 1 ネットワーク越えアクセスをする際に使用するパラメータです。
設定は「CX-Net ネットワークコンフィグレーション」のルーチングテーブルにて行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照下さい。
- 2 設定は Ethernet ユニット前面のロータリスイッチにて行います。

注意事項

- IP アドレス、サブネットマスクはネットワーク管理者に確認し、重複した IP アドレスは設定しないでください。

3.5 設定例 5

■ GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択します。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

ポート番号

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

自局アドレス

ネットワーク

ノード

機器別設定

接続可能台数 32台

No.	機器名	設定
1	PLC1	IPアドレス=192.168.0.0.001,ポート番号=9600,ネットワーク=0,ノード=1

MEMO

- ・ [ネットワーク] は表示器のネットワークアドレスを任意で設定してください。
- ・ [ノード] は表示器のノードアドレスを任意で設定してください。

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から  をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



MEMO

- [IP アドレス] は接続機器に設定した IP アドレスを設定してください。
- [ネットワーク] は接続機器に設定したネットワークアドレスを設定してください。
- [ノード] は接続機器に設定したノードアドレスを設定してください。

注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。
- PLC のデフォルトのポート番号は 9600 です。UDP 接続の場合は必ず表示器と接続機器のポート番号を同じ設定にしてください。
- 表示器と接続機器では異なるノードアドレスを設定してください。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は接続機器のディップスイッチとロータリスイッチ、ラダーソフト（CX-Programmer）で行います。IP アドレスの設定は自動生成方式（動的）で行います。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

ディップスイッチの設定

ディップ スイッチ	設定	内容
SW1	OFF	ユーザメモリに書込みできるかどうかを設定します。 ON: 書込み不可 OFF: 書込み可
SW2	OFF	電源 ON 時にメモリカードからデータを読み込むかどうかを設定します。 ON: 読む OFF: 読まない
SW3	OFF	未使用
SW4	OFF	未使用
SW5	OFF	シリアルポートの通信速度を設定します。 ON: ラダーソフト（ツールパス）の通信速度を自動認識します。 OFF: ラダーソフトの通信設定にしたがいます。
SW6	OFF	特殊補助リレー A395.12 の状態を切り替えます。
SW7	OFF	簡易バックアップの種類を設定します。
SW8	OFF	OFF に固定

ロータリスイッチの設定

設定項目	設定値
Unit No.	0

設定項目		設定値
NODE No.	x 16 ¹	0
	x 16 ⁰	1

ラダーソフトの設定

- 1 ラダーソフトを起動します。
- 2 [ファイル]メニューから[新規作成]を選択し、[PLC 機種変更]ダイアログボックスを表示します。
- 3 [PLC 機種]から使用する接続機器を選択します。
- 4 [PLC 機種]から[設定]をクリックし、[PLC 機種の設定]ダイアログボックスを表示します。
- 5 [CPU 形式]から使用する CPU 形式を選択し、[OK]をクリックします。
- 6 [ネットワーク種別]から接続方法を選択します。
- 7 [OK]をクリックします。

- 8 ワークスペースのツリービューから [I/O テーブル・ユニット設定] をダブルクリックし、[PLC の I/O テーブル] ダイアログボックスを表示します。
- 9 ツリービューの [内蔵ポート / インナーボード] から設定する内蔵 EtherNet/IP ポートをダブルクリックし、[パラメータの編集] ダイアログボックスを表示します。
- 10 [TCP/IP] タブで [IP アドレス] と [サブネットマスク] を以下のように設定します。

設定項目	設定値
IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0

- 11 [OK] をクリックします。
- 12 通信設定を接続機器に転送します。
- 13 接続機器を再起動します。

注意事項

- IP アドレス、サブネットマスクはネットワーク管理者に確認し、重複した IP アドレスは設定しないでください。
- UDP で接続する場合は、必ず表示器と接続機器のポート番号を同じ設定にしてください。

3.6 設定例 6

■ GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択します。

MEMO

- ・ [ネットワーク] は表示器のネットワークアドレスを任意で設定してください。
- ・ [ノード] は表示器のノードアドレスを任意で設定してください。

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から  をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



MEMO

- [IP アドレス] は接続機器に設定した IP アドレスを設定してください。
- [ネットワーク] は接続機器に設定したネットワークアドレスを設定してください。
- [ノード] は接続機器に設定したノードアドレスを設定してください。

注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。
- 接続機器のデフォルトのポート番号は 9600 です。UDP 接続の場合は必ず表示器と接続機器のポート番号を同じ設定にしてください。
- 表示器と接続機器では異なるノードアドレスを設定してください。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は接続機器のディップスイッチとロータリスイッチ、ラダーソフト（CX-Programmer）で行います。IP アドレスの設定は自動生成方式（動的）で行います。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

ディップスイッチの設定

ディップ スイッチ	設定	内容
SW1	OFF	ユーザメモリに書込みできるかどうかを設定します。 ON: 書込み不可 OFF: 書込み可
SW2	OFF	電源 ON 時にメモリカードからデータを読み込むかどうかを設定します。 ON: 読む OFF: 読まない
SW3	OFF	未使用
SW4	OFF	未使用
SW5	OFF	シリアルポートの通信速度を設定します。 ON: ラダーソフト（ツールパス）の通信速度を自動認識します。 OFF: ラダーソフトの通信設定にしたがいます。
SW6	OFF	特殊補助リレー A395.12 の状態を切り替えます。
SW7	OFF	簡易バックアップの種類を設定します。
SW8	OFF	OFF に固定

ロータリスイッチの設定

設定項目	設定値
Unit No.	0

設定項目		設定値
NODE No.	x 16 ¹	0
	x 16 ⁰	1

ラダーソフトの設定

- 1 ラダーソフトを起動します。
- 2 [ファイル]メニューから[新規作成]を選択し、[PLC 機種変更]ダイアログボックスを表示します。
- 3 [PLC 機種]から使用する接続機器を選択します。
- 4 [PLC 機種]から[設定]をクリックし、[PLC 機種の設定]ダイアログボックスを表示します。
- 5 [CPU 形式]から使用する CPU 形式を選択し、[OK]をクリックします。
- 6 [ネットワーク種別]から接続方法を選択します。
- 7 [OK]をクリックします。

- 8 ワークスペースのツリービューから [I/O テーブル・ユニット設定] をダブルクリックし、[PLC の I/O テーブル] ダイアログボックスを表示します。
- 9 ツリービューの [内蔵ポート / インナーボード] から設定する内蔵 EtherNet/IP ポートをダブルクリックし、[パラメータの編集] ダイアログボックスを表示します。
- 10 [TCP/IP] タブで [IP アドレス] と [サブネットマスク] を以下のように設定します。

設定項目	設定値
IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0

- 11 [OK] をクリックします。
- 12 通信設定を接続機器に転送します。
- 13 接続機器を再起動します。

注意事項

- IP アドレス、サブネットマスクはネットワーク管理者に確認し、重複した IP アドレスは設定しないでください。

3.7 設定例 7

■ GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択します。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

ポート番号

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

自局アドレス

ネットワーク

ノード

機器別設定

接続可能台数 32台

No.	機器名	設定
1	PLC1	IPアドレス=192.168.0.0.001,ポート番号=9600,ネットワーク=0,ノード=1

MEMO

- ・ [ネットワーク] は表示器のネットワークアドレスを任意で設定してください。
- ・ [ノード] は表示器のノードアドレスを任意で設定してください。

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から  をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



MEMO

- [IP アドレス] は接続機器に設定した IP アドレスを設定してください。
- [ネットワーク] は接続機器に設定したネットワークアドレスを設定してください。
- [ノード] は接続機器に設定したノードアドレスを設定してください。

注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。
- PLC のデフォルトのポート番号は 9600 です。UDP 接続の場合は必ず表示器と接続機器のポート番号を同じ設定にしてください。
- 表示器と接続機器では異なるノードアドレスを設定してください。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は接続機器のロータリスイッチとラダーソフト（CX-Programmer）で行います。

IP アドレスの設定は自動生成方式（動的）で行います。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

ロータリスイッチの設定

設定項目	設定値
Unit No.	1

設定項目	設定値
NODE No.	$\times 16^1$
	$\times 16^0$
	0
	1

ラダーソフトの設定

- 1 ラダーソフトを起動します。
- 2 [ファイル]メニューから[新規作成]を選択し、[PLC 機種変更]ダイアログボックスを表示します。
- 3 [PLC 機種]から使用する接続機器を選択します。
- 4 [PLC 機種]から[設定]をクリックし、[PLC 機種の設定]ダイアログボックスを表示します。
- 5 [CPU 形式]から使用する CPU 形式を選択し、[OK]をクリックします。
- 6 [ネットワーク種別]から接続方法を選択します。
- 7 [OK]をクリックします。
- 8 ワークスペースのツリービューから[I/O テーブル・ユニット設定]をダブルクリックし、[PLC の I/O テーブル]ダイアログボックスを表示します。
- 9 ツリービューの[CPU ラック]からリンク I/F を接続しているスロット番号をダブルクリックし、[ユニットの選択]ダイアログボックスを表示します。
- 10 ツリービューの[通信]から登録するリンク I/F を選択します。
- 11 [OK]をクリックし、[ユニットの追加]ダイアログボックスを表示します。
- 12 [ユニット番号]に「1」を入力します。
- 13 [OK]をクリックします。
- 14 [PLC の I/O テーブル]ダイアログボックスで登録したリンク I/F をダブルクリックし、[パラメータの編集]ダイアログボックスを表示します。
- 15 [設定]タブで[IP アドレス]と[サブネットマスク]を以下のように設定します。

設定項目	設定値
IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0

- 16 [OK]をクリックします。
- 17 通信設定を接続機器に転送します。
- 18 接続機器を再起動します。

注意事項

- IP アドレス、サブネットマスクはネットワーク管理者に確認し、重複した IP アドレスは設定しないでください。
- UDP で接続する場合は、必ず表示器と接続機器のポート番号を同じ設定にしてください。

3.8 設定例 8

■ GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択します。

MEMO

- ・ [ネットワーク] は表示器のネットワークアドレスを任意で設定してください。
- ・ [ノード] は表示器のノードアドレスを任意で設定してください。

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から  をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



MEMO

- [IP アドレス] は接続機器に設定した IP アドレスを設定してください。
- [ネットワーク] は接続機器に設定したネットワークアドレスを設定してください。
- [ノード] は接続機器に設定したノードアドレスを設定してください。

注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。
- 接続機器のデフォルトのポート番号は 9600 です。UDP 接続の場合は必ず表示器と接続機器のポート番号を同じ設定にしてください。
- 表示器と接続機器では異なるノードアドレスを設定してください。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は接続機器のロータリスイッチとラダーソフト（CX-Programmer）で行います。

IP アドレスの設定は自動生成方式（動的）で行います。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

ロータリスイッチの設定

設定項目	設定値
Unit No.	1

設定項目	設定値
NODE No.	$\times 16^1$
	$\times 16^0$
	0
	1

ラダーソフトの設定

- 1 ラダーソフトを起動します。
- 2 [ファイル]メニューから[新規作成]を選択し、[PLC 機種変更]ダイアログボックスを表示します。
- 3 [PLC 機種]から使用する接続機器を選択します。
- 4 [PLC 機種]から[設定]をクリックし、[PLC 機種の設定]ダイアログボックスを表示します。
- 5 [CPU 形式]から使用する CPU 形式を選択し、[OK]をクリックします。
- 6 [ネットワーク種別]から接続方法を選択します。
- 7 [OK]をクリックします。
- 8 ワークスペースのツリービューから[I/O テーブル・ユニット設定]をダブルクリックし、[PLC の I/O テーブル]ダイアログボックスを表示します。
- 9 ツリービューの[CPU ラック]からリンク I/F を接続しているスロット番号をダブルクリックし、[ユニットの選択]ダイアログボックスを表示します。
- 10 ツリービューの[通信]から登録するリンク I/F を選択します。
- 11 [OK]をクリックし、[ユニットの追加]ダイアログボックスを表示します。
- 12 [ユニット番号]に「1」を入力します。
- 13 [OK]をクリックします。
- 14 [PLC の I/O テーブル]ダイアログボックスで登録したリンク I/F をダブルクリックし、[パラメータの編集]ダイアログボックスを表示します。
- 15 [設定]タブで[IP アドレス]と[サブネットマスク]を以下のように設定します。

設定項目	設定値
IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0

- 16 [OK]をクリックします。
- 17 通信設定を接続機器に転送します。
- 18 接続機器を再起動します。

注意事項

- IP アドレス、サブネットマスクはネットワーク管理者に確認し、重複した IP アドレスは設定しないでください。

3.9 設定例 9

■ GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択します。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

ポート番号

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

自局アドレス

ネットワーク

ノード

機器別設定

接続可能台数 32台

No.	機器名	設定
1	PLC1	IPアドレス=192.168.0.0.001,ポート番号=9600,ネットワーク=0,ノード=1

MEMO

- ・ [ネットワーク] は表示器のネットワークアドレスを任意で設定してください。
- ・ [ノード] は表示器のノードアドレスを任意で設定してください。

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から  をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



MEMO

- [IP アドレス] は接続機器に設定した IP アドレスを設定してください。
- [ネットワーク] は接続機器に設定したネットワークアドレスを設定してください。
- [ノード] は接続機器に設定したノードアドレスを設定してください。

注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。
- PLC のデフォルトのポート番号は 9600 です。UDP 接続の場合は必ず表示器と接続機器のポート番号を同じ設定にしてください。
- 表示器と接続機器では異なるノードアドレスを設定してください。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は接続機器のロータリスイッチとラダーソフト（CX-Programmer）で行います。

IP アドレスの設定は自動生成方式（動的）で行います。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

ロータリスイッチの設定

設定項目	設定値
Unit No.	1

設定項目	設定値
NODE No.	$\times 16^1$
	$\times 16^0$
	0
	1

ラダーソフトの設定

- 1 ラダーソフトを起動します。
- 2 [ファイル]メニューから[新規作成]を選択し、[PLC 機種変更]ダイアログボックスを表示します。
- 3 [PLC 機種]から使用する接続機器を選択します。
- 4 [PLC 機種]から[設定]をクリックし、[PLC 機種の設定]ダイアログボックスを表示します。
- 5 [CPU 形式]から使用する CPU 形式を選択し、[OK]をクリックします。
- 6 [ネットワーク種別]から接続方法を選択します。
- 7 [OK]をクリックします。
- 8 ワークスペースのツリービューから[I/O テーブル・ユニット設定]をダブルクリックし、[PLC 機種選択]ダイアログボックスを表示します。
- 9 使用する接続機器を選択します。
- 10 [OK]をクリックし、[PLC の I/O テーブル]ダイアログボックスを表示します。
- 11 ツリービューの[CPU ラック]からリンク I/F を接続しているスロット番号をダブルクリックし、[ユニットの選択]ダイアログボックスを表示します。
- 12 ツリービューの[通信]から登録するリンク I/F を選択します。
- 13 [OK]をクリックし、[ユニットの追加]ダイアログボックスを表示します。
- 14 [ユニット番号]に「1」を入力します。
- 15 [OK]をクリックします。
- 16 [PLC の I/O テーブル]ダイアログボックスで登録したリンク I/F をダブルクリックし、[パラメータの編集]ダイアログボックスを表示します。
- 17 [設定]タブで[IP アドレス]と[サブネットマスク]を以下のように設定します。

設定項目	設定値
IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0

- 18 [OK]をクリックします。
- 19 通信設定を接続機器に転送します。
- 20 接続機器を再起動します。

注意事項

- IP アドレス、サブネットマスクはネットワーク管理者に確認し、重複した IP アドレスは設定しないでください。
- UDP で接続する場合は、必ず表示器と接続機器のポート番号を同じ設定にしてください。

3.10 設定例 10

■ GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択します。

MEMO

- ・ [ネットワーク] は表示器のネットワークアドレスを任意で設定してください。
- ・ [ノード] は表示器のノードアドレスを任意で設定してください。

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から  をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



MEMO

- [IP アドレス] は接続機器に設定した IP アドレスを設定してください。
- [ネットワーク] は接続機器に設定したネットワークアドレスを設定してください。
- [ノード] は接続機器に設定したノードアドレスを設定してください。

注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。
- 接続機器のデフォルトのポート番号は 9600 です。UDP 接続の場合は必ず表示器と接続機器のポート番号を同じ設定にしてください。
- 表示器と接続機器では異なるノードアドレスを設定してください。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は接続機器のロータリスイッチとラダーソフト（CX-Programmer）で行います。
IP アドレスの設定は自動生成方式（動的）で行います。
詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

ロータリスイッチの設定

設定項目	設定値
Unit No.	1

設定項目	設定値
NODE No.	$\times 16^1$
	$\times 16^0$
	0
	1

ラダーソフトの設定

- 1 ラダーソフトを起動します。
- 2 [ファイル]メニューから[新規作成]を選択し、[PLC 機種変更]ダイアログボックスを表示します。
- 3 [PLC 機種]から使用する接続機器を選択します。
- 4 [PLC 機種]から[設定]をクリックし、[PLC 機種の設定]ダイアログボックスを表示します。
- 5 [CPU 形式]から使用する CPU 形式を選択し、[OK]をクリックします。
- 6 [ネットワーク種別]から接続方法を選択します。
- 7 [OK]をクリックします。
- 8 ワークスペースのツリービューから[I/O テーブル・ユニット設定]をダブルクリックし、[PLC 機種選択]ダイアログボックスを表示します。
- 9 使用する接続機器を選択します。
- 10 [OK]をクリックし、[PLC の I/O テーブル]ダイアログボックスを表示します。
- 11 ツリービューの[CPU ラック]からリンク I/F を接続しているスロット番号をダブルクリックし、[ユニットの選択]ダイアログボックスを表示します。
- 12 ツリービューの[通信]から登録するリンク I/F を選択します。
- 13 [OK]をクリックし、[ユニットの追加]ダイアログボックスを表示します。
- 14 [ユニット番号]に「1」を入力します。
- 15 [OK]をクリックします。
- 16 [PLC の I/O テーブル]ダイアログボックスで登録したリンク I/F をダブルクリックし、[パラメータの編集]ダイアログボックスを表示します。
- 17 [設定]タブで[IP アドレス]と[サブネットマスク]を以下のように設定します。

設定項目	設定値
IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0

- 18 [OK]をクリックします。
- 19 通信設定を接続機器に転送します。
- 20 接続機器を再起動します。

注意事項

- IP アドレス、サブネットマスクはネットワーク管理者に確認し、重複した IP アドレスは設定しないでください。

4 設定項目

表示器の通信設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードで設定します。

各項目の設定は接続機器の設定と一致させる必要があります。

☞ 「3 通信設定例」(8 ページ)

MEMO ・ 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

参照：保守 / トラブル解決ガイド「2.5 イーサネット設定」

4.1 GP-Pro EX での設定項目

■ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの [システム設定ウィンドウ] から [接続機器設定] を選択します。

設定項目		設定内容
ポート番号		UDP 接続の場合は表示器のポート番号を「1024 ~ 65535」で入力します。TCP 接続の場合は表示器のポート番号は「自動割当」固定となり、自動的に割り当てられます。
タイムアウト		表示器が接続機器からの応答を待つ時間 (s) を「1 ~ 127」で入力します。
リトライ		接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0 ~ 255」で入力します。
送信ウェイト		表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms) を「0 ~ 255」で入力します。
自局アドレス	ネットワーク	表示器のネットワークアドレスを「0 ~ 127」で設定します。
	ノード	表示器のノードアドレスを「1 ~ 254」で設定します。

■ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から  をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



設定項目		設定内容
IP アドレス		接続機器の IP アドレスを設定します。 MEMO ・ IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。
ポート番号		接続機器ポート番号を「1 ~ 65535」で設定します。 MEMO ・ UDP 接続時：ポート番号 53/123 はシステムで予約されていますので使用しないでください。 ・ TCP 接続時：ポート番号 20/21/25/53/110 はシステムで予約されていますので使用しないでください。
相手先アドレス	ネットワーク	接続機器のネットワークアドレスを「0 ~ 127」で設定します。
	ノード	接続機器のノードアドレスを「1 ~ 254」で設定します。

4.2 オフラインモードでの設定項目

MEMO ・ オフラインモードへの入り方や操作方法是保守 / トラブル解決ガイドを参照してください。

参照 : 保守 / トラブル解決ガイド「2.2 オフラインモードについて」

■ 通信設定

設定画面を表示するには、オフラインモードの[周辺機器設定] から [接続機器設定] をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチします。

通信設定	機器設定			
CS/CJ シリーズ イーサネット [UDP] Page 1/1				
ポート番号 9600 ▼ ▲ (TCP接続時は自動的に割り当てられます)				
タイムアウト(s) 3 ▼ ▲ リトライ 2 ▼ ▲ 送信ウェイト(ms) 0 ▼ ▲				
ネットワークアドレス 0 ▼ ▲ ノードアドレス 2 ▼ ▲				
終了		戻る		2005/09/02 12:45:38

設定項目	設定内容
ポート番号	UDP 接続の場合は表示器のポート番号を「1024 ~ 65535」で入力します。TCP 接続の場合は表示器のポート番号は入力した値に関わらず自動的に割り当てられます。
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間 (s) を「1 ~ 127」で入力します。
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0 ~ 255」で入力します。
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms) を「0 ~ 255」で入力します。
ネットワークアドレス	表示器のネットワークアドレスを「0 ~ 127」で設定します。
ノードアドレス	表示器のノードアドレスを「1 ~ 254」で設定します。

■ 機器設定

設定画面を表示するには、[周辺機器設定] から [接続機器設定] をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[機器設定] をタッチします。

通信設定	機器設定			
CS/CJ シリーズ イーサネット [UDP] Page 1/1				
接続機器名		PLC1		
IPアドレス	192 168 0 1			
ポート番号	9600			
ネットワークアドレス	0			
ノードアドレス	1			
終了		戻る		2005/09/02 12:45:41

設定項目	設定内容
接続機器名	設定する接続機器を選択します。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の名称です。(初期値 [PLC1])
IP アドレス	接続機器の IP アドレスを設定します。 MEMO ・ IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。
ポート番号	接続機器ポート番号を「 1 ～ 65535 」で設定します。
ネットワークアドレス	接続機器のネットワークアドレスを「 0 ～ 127 」で設定します。
ノードアドレス	接続機器のノードアドレスを「 1 ～ 254 」で設定します。

5 使用可能デバイス

使用可能なデバイスアドレスの範囲を下表に示します。ただし、実際にサポートされるデバイスの範囲は接続機器によって異なりますので、ご使用の接続機器のマニュアルで確認してください。

5.1 CS/CJ1 シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
チャンネル I/O	0000.00 ~ 6143.15	0000 ~ 6143		1
内部補助リレー	W000.00 ~ W511.15	W000 ~ W511		
特殊補助リレー	A000.00 ~ A959.15	A000 ~ A959		2
保持リレー	H000.00 ~ H511.15	H000 ~ H511		
タイマ (タイムアップフラグ)	T0000 ~ T4095	-		3
カウンタ (カウンタアップフラグ)	C0000 ~ C4095	-		3
タイマ (現在値)	-	T0000 ~ T4095		
カウンタ (現在値)	-	C0000 ~ C4095		
データメモリ	D00000.00 ~ D32767.15	 D00000 ~ D32767		1
拡張データメモリ (E0-EC)	E000000.00 ~ EC32767.15	E000000 ~ EC32767		4 5
拡張データメモリ (カレントバンク)	-	EM00000 ~ EM32767		 5 6
タスクフラグ (ビット)	TKB00 ~ TKB31	-		3
タスクフラグ (ステータス)	TK00.00 ~ TK31.07	TK00 ~ TK30		 3
インデックスレジスタ	-	IR00 ~ IR15		 7
データレジスタ	-	DR00 ~ DR15		 7

- 1 チャンネル I/O の 1500-1899 のアドレスと、データメモリ D30000-D31599 のアドレスは、接続機器側でシステム設定用として使用されますので、表示器からの書込みは行わないでください。
- 2 A000 ~ A447 は書込みできません。
- 3 書込み不可。
- 4 最大 13 バンク (E0 ~ EC) まで使用できます。1 バンクは 32768 ワードです。CPU ユニットにより使用できるバンク数は異なります。
- 5 CJM1 シリーズには拡張データメモリ (E0 ~ EC、カレントバンク EM) は存在しません。
- 6 CJ1 シリーズには拡張データメモリ (カレントバンク EM) は存在しません。

7 RUN 中書込み不可。

MEMO

- ・ システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用)」

- ・ 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

 「表記のルール」

5.2 CJ2 シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
チャンネル I/O	0000.00 ~ 6143.15	0000 ~ 6143	L/H	1
内部補助リレー	W000.00 ~ W511.15	W000 ~ W511		
特殊補助リレー	A0000.00 ~ A1471.15 A10000.00 ~ A11535.15	A0000 ~ A1471 A10000 ~ A11535		2
保持リレー	H000.00 ~ H511.15	H000 ~ H511		
タイマ (タイムアップフラグ)	T0000 ~ T4095	-		3
カウンタ (カウンタアップフラグ)	C0000 ~ C4095	-		3
タイマ (現在値)	-	T0000 ~ T4095		
カウンタ (現在値)	-	C0000 ~ C4095		
データメモリ	D00000.00 ~ D32767.15	D00000 ~ D32767		1
拡張データメモリ (E0-E18)	E0 00000.00 ~ E18 32767.15	E0 00000 ~ E18 32767		4
拡張データメモリ (カレントバンク)	-	EM00000 ~ EM32767		15
タスクフラグ (ビット)	TKB000 ~ TKB127	-		3
タスクフラグ (ステータス)	TK000.00 ~ TK127.07	TK000 ~ TK126		+ 2 3
インデックスレジスタ	-	IR00 ~ IR15		31 5
データレジスタ	-	DR00 ~ DR15		15 5

- 1 チャンネル I/O の 1500-1899 のアドレスと、データメモリ D30000-D31599 のアドレスは、接続機器側でシステム設定用として使用されますので、表示器からの書込みは行わないでください。
- 2 A000 ~ A447 と A10000 ~ A11535 は書込みできません。
- 3 書込み不可。
- 4 最大 24 バンク (E0 ~ E18) まで使用できます。1 バンクは 32768 ワードです。CPU ユニットにより使用できるバンク数は異なります。
- 5 RUN 中書込み不可。

MEMO

- ・ システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用)」

- ・ 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

 「表記のルール」

5.3 CP1 シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
チャンネル I/O	0000.00 ~ 6143.15	0000 ~ 6143	[L/H]	
内部補助リレー	W000.00 ~ W511.15	W000 ~ W511		
特殊補助リレー	A000.00 ~ A959.15	A000 ~ A959		1
保持リレー	H000.00 ~ H511.15	H000 ~ H511		
タイマ (タイムアップフラグ)	T0000 ~ T4095	-		2
カウンタ (カウンタアップフラグ)	C0000 ~ C4095	-		2
タイマ (現在値)	-	T0000 ~ T4095		
カウンタ (現在値)	-	C0000 ~ C4095		
データメモリ	D00000.00 ~ D32767.15	 D00000 ~ D32767		
タスクフラグ (ビット)	TKB00 ~ TKB31	-		2
タスクフラグ (ステータス)	TK00.00 ~ TK31.07	TK00 ~ TK30		 2 2
インデックスレジスタ	-	IR00 ~ IR15		 31 3
データレジスタ	-	DR00 ~ DR15		 15 3

- 1 A000 ~ A447 は書込みできません。
- 2 書込み不可。
- 3 RUN 中書込み不可。

MEMO

- ・ システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用)」

- ・ 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

 「表記のルール」

6 デバイスコードとアドレスコード

デバイスコードとアドレスコードはデータ表示器などのアドレスタイプで「デバイスタイプ&アドレス」を設定している場合に使用します。

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
チャンネル I/O	-	0080	ワードアドレス
内部補助リレー	W	0082	ワードアドレス
特殊補助リレー	A	0085	ワードアドレス
保持リレー	H	0084	ワードアドレス
タイマ (現在値)	T	0060	ワードアドレス
カウンタ (現在値)	C	0061	ワードアドレス
データメモリ	D	0000	ワードアドレス
拡張データメモリ (E0-E18)	E0	0010	ワードアドレス
	E1	0011	ワードアドレス
	E2	0012	ワードアドレス
	E3	0013	ワードアドレス
	E4	0014	ワードアドレス
	E5	0015	ワードアドレス
	E6	0016	ワードアドレス
	E7	0017	ワードアドレス
	E8	0018	ワードアドレス
	E9	0019	ワードアドレス
	EA	001A	ワードアドレス
	EB	001B	ワードアドレス
	EC	001C	ワードアドレス
	ED	001D	ワードアドレス
	EE	001E	ワードアドレス
	EF	001F	ワードアドレス
	E10	0020	ワードアドレス
	E11	0021	ワードアドレス
	E12	0022	ワードアドレス
	E13	0023	ワードアドレス

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
拡張データメモリ (E0-E18)	E14	0024	ワードアドレス
	E15	0025	ワードアドレス
	E16	0026	ワードアドレス
	E17	0027	ワードアドレス
	E18	0028	ワードアドレス
拡張データメモリ (カレントバンク)	EM	0001	ワードアドレス
タスクフラグ (ステータス)	TK	0002	ワードアドレス
インデックスレジスタ	IR	0003	ワードアドレス
データレジスタ	DR	0004	ワードアドレス

7 エラーメッセージ

エラーメッセージは表示器の画面上に「番号:機器名:エラーメッセージ(エラー発生箇所)」のように表示されます。それぞれの内容は以下のとおりです。

項目	内容
番号	エラー番号
機器名	エラーが発生した接続機器の名称。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の名称です。(初期値 [PLC1])
エラーメッセージ	発生したエラーに関するメッセージを表示します。
エラー発生箇所	エラーが発生した接続機器の IP アドレスやデバイスアドレス、接続機器から受信したエラーコードを表示します。 MEMO - IP アドレスは「IP アドレス (10 進数):MAC アドレス (16 進数)」のように表示されます。 - デバイスアドレスは「アドレス:デバイスアドレス」のように表示されます。 - 受信エラーコードは「10 進数 [16 進数]」のように表示されます。

エラーメッセージの表示例

「RHAA035:PLC1: 書込み要求でエラー応答を受信しました (受信エラーコード:2[02H])」

-
- MEMO**
- 受信したエラーコードの詳細は、接続機器のマニュアルを参照してください。
 - ドライバ共通のエラーメッセージについては「保守/トラブル解決ガイド」の「エラーが表示されたら(エラーコード一覧)」を参照してください。
-

